



10月の園だより

令和 7年 10月 1日
目黒区立中央町保育園園長

頬に当たる風が心地よく、朝晩の涼しさに秋の訪れを感じる頃となりました。戸外遊びにも快適な季節になり、園庭では築山に登ったり、小屋の中でままごとをしたり、並べたタイヤの上を渡ったりして子どもたちは好きな遊びを見つけて楽しんでいます。

先日4歳児が、飼っているカブトムシの幼虫の世話をテラスでしていました。飼育箱の土の中の糞を割り箸で取り除いていると、そばで遊んでいた2歳児の女の子が見にきました。「なにやってるのかな」と興味津々です。割り箸を持たせてもらひきこちないながらも箸を握ると、さっそく土の中の糞を探し「カブトムシのうんち、あったよ」とそばにいた4歳児に嬉しそうに報告していました。また別の2歳児の男の子は、白くてモソモソ動くカブトムシの幼虫が気になり、触るのは抵抗があるもののしばらくの間見入っています。「大丈夫、怖くないよ」と4歳児が声をかけ幼虫を触って見せてあげていました。異年齢の子ども同士の自然な交流を通して新たな発見をしたり優しく関わり合ったりする経験が、子どもたちの心の中で相手を思いやる優しい気持ちの育ちへと繋がっています。保育園ならではの異年齢交流を、今後も大切に積み重ねていきたいと思います。

今月は五本木小学校をお借りして運動会があります。保育園の玄関には運動会で使う入場門が置かれ、貼ってある5歳児が描いた似顔絵が笑顔で出迎えてくれています。運動会当日は2歳児から5歳児の子どもたちがこれまで積み重ねてきた姿を発揮し楽しく参加できるよう職員一同でサポートしていきますので、保護者の皆様には子どもたちを温かく見守っていただきますようお願いいたします。0、1歳児が参加出来る種目もありますので、ぜひ皆様でお越しください。

今月の予定

定期健康診断（全園児）

環境教室（全園児）

運動会（2・3・4・5歳児）

芋ほり遠足（4・5歳児）

※0・1歳クラスは自由参加となります。

焼き芋会（天候により順延）



避難訓練の様子



保育園では毎月火災、地震からの火災、不審者対応等年間で計画を立て訓練を行っています。
9月の引き渡し訓練では防災グッズを紹介し、災害時の安全な過ごし方について話をしました。





0歳・1歳・2歳クラスの好きな遊び



0歳クラス・つくし組



じゃれつき遊びを始めた頃は、保育士がやっているじゃれつき遊びを遠くから見ていた子どもたちですが、回を重ねるごとに“やってみたい”という気持ちが芽生えて少しづつ参加するようになってきました。今では「上から下からやるよ」と声をかけ、布を出してくると“まつてました”“はやく”とばかりにマットの上に集まっています。「上から～下から～」と歌い布を上下に動かして風をおこすと「きゅー」と大興奮で、“もういっかい”とくり返し楽しんでいます。また「いないいない」と布で隠すと満面の笑みで出てきたり「〇〇ちゃんいないね」というと「ばあ」と嬉しそうに出てくる姿も見られるようになってきました。これからも“たのしい”“やりたい”という気持ちをたくさん感じられるように、心も体も思い切り使って遊んでいきたいです。

両手に小さいかばんを持ち、さらにリュックを背負い、“どれにしようかな”と棚の中から玩具を選んでいます。かばんにどんどん詰め込んでは「ばいばーい」と室内を散歩して鏡に映る自分の姿を見て満足している子もいれば「どこに行くの」と保育士が聞くと「プール」「パン」と行きたいところを教えてくれる子もいます。「プールに行くんだね」と声をかけると、今度は「バス」とバスで向かうこと教えてくれました。「バスに乗るのね、こちらから乗れますよ」とパック積み木やついたてをバスに見立てて作ると「ぴんぽーん」と乗り込んでいきます。一人が乗り始めるのを見ると“私も乗る”と集まり、いつの間にかバスは満員です。「こっち」と友達に声を掛けて隣に座ると顔を見合わせては嬉しそうに微笑んでいます。友達と一緒に空間で同じ遊びをしていることの喜びも感じられるように保育士も関わっていきます。

1歳クラス・たけのこ組



2歳クラス・どんぐり組



人形のお世話だけでなく、1人の赤ちゃん役の子を3、4人のお母さんがお世話しています。赤ちゃんが泣くとお母さんたちが来て「どうしたの。おなかすいたのかな。ミルクのもうか」と声をかけると赤ちゃん役の子は頷きました。「今、持ってくれるね」と1人のお母さん役の子がミルクを持ってくると「やったー」と赤ちゃんが哺乳瓶を上手に持ってミルクを飲む真似をし、その様子をお母さんたちは嬉しそうにじっと見つめています。少ししてまた泣く赤ちゃんにお母さんたちが「どうしたの」と聞くと「おちっこでた」と答えました。さっきとは別のお母さん役の子が「おむつ替えようね」と布を持ってきておむつ替えの真似をすると赤ちゃんはにっこりしてご機嫌になり、お母さんも笑顔になりました。会話を楽しみながらお世話を再現することを友達や保育士と一緒に楽しみ、ままごとやお世話遊びが広がっていることが感じられました。子どもたちのイメージがさらに豊かになるよう、再現して楽しめる環境づくりをしていきたいと思います。